

令和7年度 キッズフロンティアV番館(放課後等デイサービス)自己評価総括表

○保護者評価実施期間	2026年3月1日 ~ 2026年3月16日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2026年3月1日 ~ 2026年3月16日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	異なる学年のお子さま同士が関わり合える活動を意図的に設け、社会性や協調性を育む機会を提供しています。	送迎時の対話や連絡帳を活用し、その日の様子や頑張りを具体的に伝えることで保護者の安心感につなげています。	継続的に社会性を育む活動として位置づけていきます。
2	お子さまが今日も来たいと思えるよう、活動の楽しさと居心地の良さを大切に環境づくりに取り組んでいます。	上の学年のお子さまが下の学年をサポートする場面をつくることで、自己有用感や責任感の芽生えを大切にしています。	面談を充実させ、中長期的な目標についても保護者様と共有・共有できる体制を整えます。
3	保護者への連絡を丁寧に行い、家庭と連携しながらお子さまの成長を共に喜べる関係づくりを心がけています。	スタッフがお子さまの好みや得意なことを把握し、活動の中で自然に達成感を味わえるよう声かけや場面設定を工夫しています。	お子さまの好きをさらに深められるよう、希望を取り入れた選択活動の幅を広げていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動記録の記載内容にスタッフによるバラつきがあり、情報の質や量が均一でないことがある。	相談内容によっては対応できる専門職が限られており、適切な支援機関への紹介や連携が遅れる場合がある。	地域の相談支援機関や医療機関との連携リストを整備し、迅速に繋げる体制と担当者の役割を明確化する。
2	個別支援計画に基づいた目標の達成状況の確認が、保護者や本人へ十分にフィードバックされていない場合がある。	計画の評価・振り返りが事業所内で完結してしまい、保護者や関係機関との共有が後回しになりやすい。	夕方の業務フローを見直し、役割分担を明確化することでスムーズな対応ができる体制を構築する。
3	送迎の対応時間が集中するため、帰宅後の保護者への報告や引継ぎが短時間になりやすく、伝達内容が不十分になることがある。	記録の書き方に関するガイドラインが明確でなく、何をどの程度書くべきかの基準が個人の判断に任されている。	年齢・発達段階別のグループ活動の時間設定を見直し、それぞれに合ったプログラムが提供できるよう環境を整える。